



特集 慈愛会創設90周年



記念講演会運営スタッフ



Contents

巻頭言 「今が闘いの時」諦めることなく 勝ち抜く

慈愛会フィロソフィver. 2刊行

第4回 慈愛会学会学術集会

理事長メッセージ 慈愛会「役割等級制度」導入に際して 慈愛会の次世代の組織開発

給与制度改定が目指すもの

慈愛会 NEWS/ 在宅医療リレーエッセー / 慈愛会のプロフェッショナルたち / 人事情報

「今が闘いの時」 諦めることなく 勝ち抜く

公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁



皆様のお陰で、慈愛会創設 90 周年の特別講演会と第 4 回の慈愛会学会学術集会（大会長 常盤光弘 今村総合病院院長）を成功裏のうちに終えることができました。関係する方全員に感謝申し上げます。また、その間現場を守ってくださったスタッフの皆さんにも深く感謝申し上げます。どちらの取り組みも担当の皆さんがどうしたら成功させることができるか？どうしたら前回よりも進化した集会にできるか？を真剣に議論し、実行してくれたからこそ成功させることができたと考えています。

今回、特別講演会を安藤忠雄先生にお願いしましたが、当法人の 90 周年事業として有名だからお呼びしたわけではありません。ここ 10 年ほど、安藤先生と個人的にお付き合いする機会を得ました。皆様もご存知のように世界的な巨匠です。わたし自身は、1976 年に安藤先生が建てた「住吉の長屋」に感動し、それ以来、安藤フリークとしてその活動を注視していました。あれよあれよと有名になりましたが、講演の中でも述べられたように建築の勉強を大学で学んだわけではなく、全て独学で習得しています。天才なのは間違いありませんが、一方で、人並外れた努力家です。知れば知るほどそのスケールの大きさと世界観に圧倒されます。そのような巨匠とお近づきになれたのは望外の喜びでしたし、時々お聞きするお話に勇気づけられてきました。今回は、その想いを独り占めするのではなく、1 人でも多くの鹿児島県民とその想いを共有したくお呼びしました。その結果、皆さまのお陰もいただき大成功でした。80 の齢を超えて、あのエネルギー、パワー、そして好奇心、さらに、どんなに負けても挑戦し続ける闘争心、「日本は 3 年しか持たない！」と警告するのは、日本人が闘う気持ちを失っているからです。闘うことが苦手なわたしは、だからこそ、「今が闘いの時」だと自らを鼓舞しています。

今回、開催された慈愛会学会についても述べないわけにはいきません。

毎年毎年進化していく学会ですが、今年も確実な進化を遂げてくれました。新型コロナ禍が続く医療現場で、有事と平時の双方のサービスを提供しなければならない環境下であって、サービス提供に直結しない学会活動を行うのは至難の業です。それを成し遂げてくれたのは、法人のスタッフ皆さんが学会活動も業務の一環として理解し、皆さんで取り組んでくれたからに他なりません。特に今回は、ベテランの発表に加えて、若手の台頭も著しく、さらに発表する業種の幅も広がっていたことが特筆されます。これは、ひとえにその事を励行してくれる現場の環境整備が進化しているからに他ならないと考えますがいかがでしょうか？折角の優れた発表を活かしていくためには理事長はもっと努力をしなければなりません。優れた発表が宝の持ち腐れにならないように尽力します。

ますます厳しくなる環境だからこそ、決して諦めることなく、「闘争心」を奮い立たせて勝ち抜いていきます。

宜しく申し上げます。



特集

慈愛会90周年

わたしたち慈愛会の起源は、1934（昭和9）年5月5日に開院した「今村産婦人科医院」に遡ります。3年後に「今村病院」へ、1950年には「財団法人今村病院」へ組織を改め、1954年に「財団法人慈愛会」と名称変更。2011（平成23）年に鹿児島県から公益認定を受け「公益財団法人慈愛会」に移行し、現在に至ります。

今年2024（令和6）年は、創設から90周年。

今回のProfessionalでは、慈愛会の直近10年間の変遷（創設80周年記念誌掲載「慈愛会年表<1934-2014>」以降の沿革）を集約します。さらに、90周年記念事業・特別講演会の開催報告、及び、聴講者アンケートで頂いたご意見・メッセージを紹介します。

90周年ロゴマークに 込めた想い

9の丸の部分と0で無限のマーク（∞）をかたどり慈愛会の歴史が末永く続くことを表しています。医療を象徴するレッド、安心を象徴するグリーンは慈愛会のコーポレートカラーです。

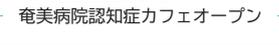
進化90年 変わらぬ想いを未来へ

— 慈愛会創設90周年 —

慈愛会年表 <2014-2024>

* 2014年分は80周年記念誌掲載内容の再掲を含む * 病院・施設名は、当該年月の名称で記載
* 公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価審査結果は「病院機能評価」の表記で統一。バージョン、認定日は同機構サイト掲載内容に基づく

年・月	病院・施設	沿革	
平成26 (2014)年	4月 今村病院	今村英仁院長就任（理事長兼任） 鎌田哲郎副院長就任 大井秀久副院長就任 病床数 158床→154床へ減床（今村病院分院へ4床移床） 慈愛会糖尿病センター開設、眼科増科	 <p>慈愛会糖尿病センター 開設セレモニー</p>
	4月 今村病院分院	帆北修一副院長就任 病床数 287床→291床へ増床、ICU10床新設、手術室2室増室（計5室）	
	5月 奄美病院	「指定特定相談支援事業所あゆみ」開設	 <p>創設80周年記念祝賀会</p>
	7月 愛と結の街	「定期巡回随時対応型ヘルパーステーション結の街」休止	
	9月 慈愛会	創設80周年記念式典開催	
	9月 今村病院	鎌田哲郎院長就任 病床数 154床→152床へ減床（今村病院分院へ2床移床） 病理診断科、麻酔科 減科	
	9月 今村病院分院	病床数 291床→293床へ増床（回復期リハ病棟36床）	
	10月 奄美病院	病院機能評価（3rdG：Ver.1.0）認定更新	
	12月 慈愛会	慈愛会急性期総合型病院（仮称）建設に向けた「新病院プロジェクト」始動。	
	12月 今村病院	新棟 ウェルネスじあい開設 （リハビリセンター、外来化学療法センター拡充（6床→10床）会議室等バックヤード機能の整備、在宅診療部の新設） 「通所リハビリテーションウェルネスじあい」開設	
	12月 今村病院分院	鹿児島県がん診療指定病院（総合）指定（今村病院より移管）	

年・月	病院・施設	沿革	
平成27 (2015)年	2月 今村病院	「指定居宅介護支援事業所ウェルネスじあい」開設	
	2月 今村病院分院	病院機能評価 (3rdG: Ver1.0) 認定更新	
	3月 谷山病院	病院機能評価 (3rdG: Ver1.0) 認定更新	
	3月 七波クリニック	今村病院分院隣接地から現在地 (鹿児島市真砂本町) へ移転	
	3月 今村病院	緩和ケア病床 10床→20床に増床	
	3月 今村病院分院	経済連携協定 (EPA) に基づく外国人看護師候補者が看護師免許取得	
	4月 鹿児島中央看護専門学校	今村英仁校長 (第6代) 就任	
	7月 奄美病院	矢崎直人院長就任	
	7月 今村病院	「指定訪問リハビリテーションウェルネスじあい」開設	
	9月 徳之島病院	病院機能評価 機能種別 精神科病院「認定」を受理	
	9月 今村病院	今村病院 IBD センター開設	
	10月 谷山病院	鹿児島県精神科救急地域拠点病院指定	
12月 今村病院分院	新棟起工式		
4月 今村病院	地域包括ケア病棟 30床開設		
平成28 (2016)年	6月 奄美病院	認知症カフェ オープン	
	8月 奄美病院	杉本東一管理者就任	
平成29 (2017)年	2月 今村病院	地域包括ケア病棟を 52床に変更	
	3月 谷山病院	災害時支援中心病院に指定 (日本精神科病院協会)	
	5月 愛と結の街	「デイサービスいびぎ」廃止	
	6月 今村病院	「いづろ今村病院」に名称変更	
	6月 今村病院分院	「今村総合病院」に名称変更 新病棟 (A棟) 稼働開始、屋上ヘリポート開設 病床数 293床→350床へ増床 手術室増室 (計6室)、放射線治療開始	
	8月 いづろ今村病院	病床数 152床→145床へ減床 (今村総合病院へ7床移床) (急性期 72床 (▲8)・地域包括ケア病棟 53床 (+1)・緩和 20床) 一部診療科を今村総合病院へ移転 (小児科減科、産婦人科を婦人科に変更)	
	8月 今村総合病院	病床数 350床→376床へ増床 小児科、産科、婦人科増科	
	9月 いづろ今村病院	緩和ケア内科増科	
	9月 今村総合病院	人間ドック9月末で終了、いづろ今村病院へ移転・統合	
	10月 いづろ今村病院	今村総合病院人間ドックを統合し「慈愛会健康管理センター」開設	
平成30 (2018)年	4月 今村総合病院	帆北修一院長就任 神田直昭副院長就任 歯科口腔外科増科、神経内科から脳神経内科へ診療科名変更 臨床研究センター発足 (センター長: 宇都宮與名誉院長)	
	4月 いづろ今村病院	黒野明日副院長就任 臨床研究室発足 (室長: 鎌田哲郎名誉院長) 病院機能評価 (3rdG: ver1.1) の認定更新	
	4月 愛と結の街	野村秀洋施設長就任 通所リハビリテーション 短時間デイハの変更	
	4月 徳之島病院	精神療養病棟開始 (許可病床 206床→198床) ※8床休床	
	4月 鹿児島中央看護専門学校	2年課程 (通信制) 看護科の定員を 200名→150名へ減員	
	7月 徳之島病院	沖永良部島 訪問看護開始	
	9月 いづろ今村病院	日本人間ドック学会 人間ドック健診施設機能評価 (Ver.3.0) 認定	
	10月 徳之島病院	与論島 訪問看護開始	
	11月 慈愛会	法人事業本部を鹿児島市泉町より鴨池新町へ移転 (従たる事務所の設置) ※登記上の主たる事務所は鹿児島市泉町 1-15	
	平成31 (2019)年	4月 今村総合病院	
5月 奄美病院		病床数 356床→348床へ減床 (今村総合病院へ8床移床) (1階南病棟 30床→22床)	
令和元 (2019)年	5月 今村総合病院	病床数 376床→384床へ増床 (精神科8床増床) 企業主導型保育所「さんさんすまいる」開所	
	6月 いづろ今村病院	呼吸器内科減科	
	7月 奄美病院	病院機能評価 (3rdG: Ver. 2.0) 認定更新	
	8月 今村総合病院	病児保育「さんさんすまいるパラソル」開所	
	8月 谷山病院	訪問看護室が笹貴訪問看護ステーション愛の街と統合合併	
	8月 愛と結の街	笹貴訪問看護ステーション愛の街が谷山病院訪問看護室と統合、新体制発足	
	10月 かがしまオハナクリニック	開院 林恒存院長就任	
	10月 いづろ今村病院	病床数 145床→130床へ減床 (今村総合病院へ15床移床) (急性期 57床 (▲15)・地域包括ケア病棟 53床・緩和 20床)	
	10月 今村総合病院	病床数 384床→399床へ増床 (急性期 315床 (+15)・回復期リハ 36床・精神 48床)	
	10月 徳之島病院	ミャンマーより外国人技能実習生3名を受け入れ (3年間)	

年・月	病院・施設	沿革	
令和2 (2020)年	1月 今村総合病院	病院機能評価 (3rdG: Ver. 2.0) 認定更新	 <p>今村総合病院感染症専用病棟開設</p>
	1月 愛と結の街	デイサービスはなぶさ 地域密着型通所介護 廃止 (定員 30 名 通所介護事業所を開設)	
	2月 奄美病院	2階東病棟休床	
	3月 いづろ今村病院	在宅療養支援病院 (3) を取得	
	3月 谷山病院	病院機能評価 (3rdG: Ver. 2.0) 認定更新	
	4月 今村総合病院	上之園芳一副院長就任 新型コロナウイルス感染症専用病棟開設 (旧 ICU に 7 床。以後県病床フェーズに基づき受け入れ態勢継続)	
	4月 いづろ今村病院	泌尿器科減科	 <p>コロナ対応に追われた各病院施設</p>
	4月 谷山病院	鹿児島県から新型コロナウイルス陽性の精神障がい者入院受け入れ要請、受諾 (結核病床に 5 床。以後県病床フェーズに基づき受け入れ態勢継続)	
	4月 鹿児島中央看護専門学校	鹿児島県の要請に基づき休校措置 (4/22 ~ 5/6)	
	10月 今村総合病院	鹿児島県より新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定	
	10月 いづろ今村病院	帰国者・接触者外来開設	
	10月 奄美病院	オーダーリングシステム導入	
11月 谷山病院	鹿児島県より新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定	 <p>住宅型有料老人ホーム あいゆいの家開設</p>	
11月 今村総合病院	発熱外来開設		
11月 いづろ今村病院	発熱外来開設		
1月 いづろ今村病院	病床数 130 床 → 115 床へ減床 (今村総合病院へ 15 床移床) (急性期 42 床 (▲ 15)・地域包括ケア病棟 53 床・緩和 20 床)		
1月 今村総合病院	病床数 399 床 → 414 床へ増床 (急性期 330 床 (+ 15)・回復期リハ 36 床・精神 48 床)		
3月 今村総合病院	感染症内科増科		
4月 いづろ今村病院	高塚祥芝副院長就任 長野真二郎副院長就任 皮膚科増科		
4月 谷山病院	福田恭哉副院長就任		
4月 今村総合病院	病床数 414 床 → 428 床へ増床 (急性期 330 床・回復期リハ 50 床 (+ 14)・精神 48 床) いづろ今村病院より IBD センター移転		
5月 愛と結の街	「住宅型有料老人ホーム あいゆいの家」開設		
6月 今村総合病院	常盤光弘副院長 院長代行兼任 肝臓内科増科		
令和3 (2021)年	7月 慈愛会		第 1 回慈愛会学会学術集会開催
	7月 徳之島病院	病院機能評価 (3rdG: Ver2.0) 更新認定	
	10月 高麗町クリニック	斧淵泰裕院長就任	
	11月 谷山病院	労災保険指定医療機関に指定	
	12月 今村総合病院	常盤光弘院長代行 急性期病院統括副院長兼任	
	3月 鹿児島中央看護専門学校	2年課程 (通信制) 看護科閉課程 修了生総数 2,282 名	
	4月 今村総合病院	帆北修一院長 急性期病院統括院長兼任	 <p>鹿児島中央看護専門学校 2年課程(通信制)閉課程</p>
	4月 いづろ今村病院	常盤光弘院長就任 (今村総合病院副院長兼任)	
	4月 慈愛会	在宅支援部発足 (部長: 中園明子 谷山病院看護部長兼精神科病院統括看護部長)	
	4月 徳之島病院	精神療養病棟 (60 床) 休床 ※病床数 138 床 (計 68 床休床中)	
	4月 愛と結の街	通所リハビリテーション 1 日型・短時間型のハイブリッド運用へ変更	
	6月 慈愛会	今村英仁理事長が日本医師会常任理事就任	
7月 高麗町クリニック	木原浩一院長就任	 <p>野村秀洋施設長 秋の叙勲 旭日双光章受章</p>	
11月 愛と結の街	野村秀洋施設長 秋の叙勲 旭日双光章受章		
3月 徳之島病院	日本作業療法士協会「臨床実習指導施設」認定		
3月 いづろ今村病院	病棟再編 (急性期 35 床 (▲ 7)・地域包括ケア 58 床 (+ 5)・緩和ケア 22 床 (+ 2)) マンモグラフィ検査施設・画像認定取得		
4月 鹿児島中央看護専門学校	創設 60 周年		
4月 今村総合病院	常盤光弘院長就任 (急性期病院統括院長兼任)		
令和5 (2023)年	4月 いづろ今村病院	長野真二郎院長就任 かごしまオハナクリニックと共に機能強化型 (連携型) 在宅療養支援病院・診療所 (在支病 2) 取得	 <p>皇后陛下よりナイチンゲール記章を代理授与された今村英仁理事長</p>
	4月 奄美病院	管理者に納光弘慈愛会会長が就任	
	5月 鹿児島中央看護専門学校	今村節子 第 3 代校長 第 49 回フローレンス・ナイチンゲール記章受章	
	6月 今村総合病院	膠原病・リウマチ内科 増科	
	7月 いづろ今村病院	大腸肛門外科 減科	
	7月 徳之島病院	「訪問看護ステーション わたりどり」開設	
	11月 愛と結の街	野村秀洋施設長 鹿児島県民表彰 (保健福祉部門) 受賞	
令和6 (2024)年	1月 今村総合病院	肥後建樹郎副院長就任	 <p>訪問看護ステーションわたりどりオープン</p>
	4月 谷山病院	福田恭哉院長就任	
	4月 愛と結の街	海江田一也施設長就任	
	4月 慈愛会垂水サテライトクリニック	開院 貴島佳子院長就任	
	5月 慈愛会	創設 90 周年	
7月 慈愛会	創設 90 周年記念事業 特別講演会開催		

「建築家 安藤忠雄 特別講演会」開催

次の大きな節目となる100周年を見据え、慈愛会は2024年7月27日(土)、創設90周年記念事業 特別講演会「人生100年 元気に生きる」(後援:鹿児島市教育委員会)を開催しました。

講師は世界的建築家 安藤忠雄先生。

国内外での顕著な業績は言うまでもなく、近年は「人生100年時代」をテーマに全国各地で精力的に講演されています。

安藤先生は、がん闘病のいきさつや、自身が手掛けた世界各地の建築、街づくりの事例紹介を交えながら「人生は思うようにはいかない。いろいろと問題は起きるだろうけれど、問題を解決できる人間でないといけない」「いくつになっても、目標をつくって生きること。可能性は必ずある」と力強く語りました。

会場のカクイックス交流センター(かごしま県民交流センター)にはメイン会場・第2会場合わせて708名が来場し、1時間余のご講演に熱心に聴き入っていました。講演前後には著書へのサイン会もあり、「安藤ファン」が長蛇の列をつくりました。



《著書贈呈について》

慈愛会は記念事業の一環として、本講演会に来場した中学生～大学院生81名の皆さんに、安藤先生が半生を綴った著書「仕事をつくる 私の履歴書」を贈呈しました。

子どもたちの創造性と好奇心を育む重要性を唱える安藤先生の想いと、次代を担う若い世代が多くの知見を得るきっかけになれば、という今村英仁理事長の想いを込めたものです。

学生・生徒の皆さんにとって、本講演会が大いに励みになり、モチベーションを高めるきっかけになっていれればと願っています。



メイン会場 (県民ホール)



第2会場 (大ホール)



サイン会の様子

聴講者アンケートより

特別講演会当日のアンケートで寄せられたコメント、メッセージをご紹介します。

○特別講演会で特に印象に残ったこと、ご感想

エネルギー溢る安藤先生

がんを2度も克服しなお斬新な建築設計に励まれる意志、生命力の強さに感服。目標をもち自分で考え自分で決意して覚悟をもって楽しく仕事に取り組む大切さを学びました。

「目標は、自分で作り、前進していく」「なるようにしかならない」「人の心を、希望でつなぐ」「希望があると生きていける」。意欲の出る言葉を、たくさん聞きました。生涯、希望や目標を持続できるよう意識したいと思います。

まずは一生懸命、仕事をする。思考することを習慣化すること。安藤さんに元気をもらえました。

人生いくつになっても青春!! 楽しく生活するには、覚悟、忍耐力、持続力が必要なので体力をつけて生きていきたいと思いました。82才とは思えない安藤さんの活力、記憶力の素晴らしさ、さらにユーモアたっぷり、最高の講演会でした。

常に先(未来)を向いて、やったことがないことにチャレンジする姿勢に励まされました。

人生100年時代 どう生きるか

目標は自分で定めるもの、人生うまくいくこともあればうまくいかないこともある。うまくいかないことができた時、どうやって解決していくか。人生、楽しみなさい。人生100年時代、いつからだっではじめられる。安藤先生のたくさんの言葉に気づきをいただきました。地球のことを考えながら動いている力強さを感じました。

「覚悟、判断、行動」いくつになっても忘れず、そうすれば生き生きと長生きできることを学びました。ささやかでも役に立てるよう、これからも社会に貢献したいと思いました。

人生100年元気に生きるためにおもしろがって生きる。知らない世界を知る。うまくいかなくてもなんとかなると思えました。

プラス思考、前向きな考えが人生100年に必要と感じました。

自分で考え、決断し、実行するという言葉になるほど思いました。元気と笑いももらい、まだまだ、これからの自分の人生、やりたいことにチャレンジしていこうとあらためて思いました。

マイナスをプラスに変える発想、元気をもらいました。

"新しい世界に新しい考え方が宿る"という言葉が心に響きました。

交友関係を自分で広げるために、まず話をする、自宅で話す、トレーニングする、実践したいと思います。

自立の大切さをいろいろな方面からわかりやすく説明していただきました。私も行動により自立の重要性を伝えていきたいと思えます。そんな勇気を貰いました。

子どもたちが輝く未来のために

未来を考え、子どもたちのことを考え、慈悲の心で社会へ還元していこうとされる安藤忠雄さん。無我夢中で自分の人生を生きてこられ、建築家としての人生を全力で全うされようとしている姿に感動しました。

未来の子どもたちのために、の思いが伝わってきました。「自分で考え行動する」を心に、明日から生きます。

安藤さんの未来へ期待する気持ちが伝わってきて、幸せな気分になりました。安藤さんの建てられた建物がとてもステキです。

技術や資格云々の前に、人格が自然と育つ日本社会になるときっと、未来は希望と楽しみでいっぱいですね！

コミュニケーション能力は、「家族との会話で培え」自分もそう思うが、最近の親は、過保護で子供の言いなりが多いように感じる。人生はうまくいくことばかりではない、と家庭で教えずには、どう生きるかを自分で考えないと、日本は本当にだめになる。

強く生きること、自分で考え行動し、実行することは難しいことですが、幼い息子のこれからの世界が明るいものであるように責任あるひとりの大人として日々生活していきたいです。

主催者に対するお言葉も頂戴しました

想像以上に面白い講演会で参加させていただきありがとうございました。運営方法、スタッフさんの対応も気持ちよかったです。おつかれさまでした。

誘導の仕方や放送のやり取りが丁寧でした。

勇気の出る講演！感謝と祝福を企画された法人と、安藤さんに送りたいと思います。

さすがは医療従事者の方、係員の方のホスピタリティを感じた。

○慈愛会に期待すること、望むこと、ご意見

医療とても大変だと思います。充実した医療と働く方への負担のバランスをうまくとれるような社会のデザインが必要だと思います。いろいろ大変ですが期待しています。

医療機関として、医療サービス以上の貢献をされていることを、今日の講演を通じて知りました。これからもハートのあふ、質の高いサービス提供を期待します。

鹿児島での先端治療に引き続き取り組んでほしい。

がん治療の最先端技術、症例について伺いたい。

何か病気を患った時に安心かつ信頼して利用できる高度な医療を提供して下さること、また、予防医療、相談ができるような施設を増やして下さることが一番の願いです。

鹿児島の医療発展に期待しております。人口分布、出生率、望みがあります。日本のモデルケースとなるように！

地域や高齢者、社会的弱者の医療問題がすこしでもよい方向に向かう手助けを期待したいです。

今まで以上に地域と強くキズナをむすんで、充実した医療を展開してほしいです。

人を思う、慈しむ人の育成を。

今後も、心に寄り添い鹿児島県民の人生を支えてほしいです。

異世代、多様性の社会でのコミュニティスペースを重要視される慈愛会の活動を応援しております。

未来の子供たちに向けて何かさらに取り組んでほしい。食と教育(未来の子供へのバトンうけわたしとして)にチャレンジしてほしいです。

安藤さんもおっしゃっていた若者への投資を心からお願い申し上げます。

子供には愛を、若者には未来を与えていただけるような事業をしていただければ、この上ない幸いです。どうぞご発展お祈り申し上げます。

今後も健康な生き方についての講演を定期的に開催してほしいです。

県内一の法人であることに誇りを持って仕事をして下さい。

慈愛会 フィロソフィ ver.2 刊行

2023年に始まった「慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト」による1年余の検討・討議を経て、「慈愛会フィロソフィver. 2」(41項目)が2024年8月1日、刊行されました。

プロジェクト委員長、副委員長、そして各事業所から選出されver. 2作成作業にあたったプロジェクトメンバーに取り組みを振り返っていただきました。



不易流行 さらなる深化も願う

プロジェクト委員長 今村 英仁
公益財団法人慈愛会 理事長

慈愛会フィロソフィver. 1(35項目)ができてから10年、各事業所で様々に活用してもらいました。わたし自身が使い方を指定したり、強制したり、覚えることを求めたこともありません。皆が困ったとき、迷ったとき、壁に突き当たったとき等に開いてもらうために作成したと考えているからです。そして、この中に必ず解決の糸口を見つけられることができると信じているからです。

このフィロソフィができた時から、10年ごとに見直しをすると決めていました。何故でしょうか? 「不易流行」という言葉があります。時代は移り変わりますので、バックボーンとなる考えは変えることなく(不易)、時代に合わせて変わらなければならない部分は変えていく(流行)ことが大事だからです。

今回のバージョンアッププロジェクトの皆さんにはこの難しい作業(守成の功)を担ってもらいました。「草創と守成といずれが難きや」(貞観政要)という言葉があります。それぞれに、それぞれの難しさがあります。今回のプロジェクトの皆さんもこの困難な作業を期待以上に見事に達成してくれました。

90年続いた当法人が次の90年続くにはバックボーンとなるフィロソフィの伝承が欠かせません。これからも当法人の歴史の積み重ねとフィロソフィの深化が両輪の如く続くことを願っています。

慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト 取り組みを振り返って

プロジェクト副委員長 帆北 修一
公益財団法人慈愛会 理事長補佐
兼 今村総合病院名誉院長

2024年5月に、慈愛会は創立90周年を迎えました。今回のバージョンアップでは、23名のメンバーが2023年5月～2024年7月まで計16回の会議を開催して、様々な検討事項について多くの意見をもとに協議しました。遠方のメンバーもおられましたのでメーリングリストを活用して説明文の一言一句まで喧々諤々と議論いたしました。あつという間の1年で、まだまだ不完全な部分がたくさんあるようにも思えます。90年間の慈愛会の歴史を基本とした、この文章がしばらくの間継続することを考えると責任の重さを感じざるを得ません。

フィロソフィとは、仕事にも人生そのものにも生かすことができる、物事を成し遂げていくための「考え方」のよりどころとなるものです。慈愛会の多くの職員が心を一つにし、同じ目的に向かって進んでいくための「考え方」を、目に見える形にしてまとめたものです。社会環境は非常に速いスピードで変化しておりますが、どのような状況にあっても「考え方」ひとつでさらに一歩前に進むことができます。フィロソフィver. 2が慈愛会の職員の皆さんにとりまして精神的よりどころとなるように、「ver. 1」を礎としてバージョンアップしたものができたのではないかと考えております。書かれている言葉の一つ一つが皆さんの「心」に「考え方」を伝えてくれることを祈念しております。



慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト 23名
2023年5月～2024年7月(計16回)

 米倉	 石橋	 島崎	 渡	 揚村	
 兼石	 作元	 内大久保	 切田	 酒井	 葛和

中村 今村 池田 木佐 津曲 高野 谷口
徳重 原 帆北 巢森

今村英仁理事長

プロジェクトメンバーからひとこと

このたびは、慈愛会フィロソフィのバージョンアップに携わらせていただき、ありがとうございました。各施設からのさまざまな職種の委員のみなさんが、よりよい職場、組織にしていくために積極的に発言、提案をされ、一緒に活動する中で、とてもよい刺激をもらいました。委員全員の熱い思いが詰まっておりますので、ぜひ職員みなさまにも折々にお読みいただき、日々の業務で迷った際などの指針となればうれしいです。(今村総合病院 医師 米倉健太郎)

プロジェクト活動を通して、改めてフィロソフィを読み込み、一つ一つの言葉の意味を考え、様々な意見を聞き、慈愛会の歴史とその根底にある「考え方」を感じることができ、「心」というものがいかに大事なのかということ学ぶことができました。このver. 2をよりどころとして、自分自身も前を向いて進んでいけたらと思います。(今村総合病院 理学療法士 津曲麻美)

今回、プロジェクトメンバーのフィロソフィに対する熱い思いに触れ、そんな皆さんと共に完成に至るまでプロジェクトに参加できたことを嬉しく思います。プロジェクトを通して、物事を前向きに捉える姿勢や考え方を学びました。職員のみなさん、まずはフィロソフィver. 2を手に取り、読んでみてください。皆さんが困ったときや迷ったときの一助となるとと思います。(今村総合病院 看護師 酒井亜希)

いづろ今村病院の委員としてプロジェクトに取り組みました。慈愛会各施設代表メンバーと意見交換する中で、時代に合った内容になるよう言葉を選ぶ大切さも学ぶことができました。フィロソフィには共感する項目があります、悩んだときにはぜひ読んでください。私は「ありのままの自分を受け入れる」を心の支えにしています。(いづろ今村病院 看護師 内大久保恵)

フィロソフィバージョンアップという大きなプロジェクトに携わることができありがたく思っています。ver. 1を活用する中で感じていたことを報告できる場があり、私の小さな意見でも受け入れられ反映されたことが嬉しかったです。ver. 2は私たちの背中を押してくれる、より活用できるフィロソフィになりました。皆さまの感想も楽しみです。(谷山病院 作業療法士 島崎康子)

プロジェクトメンバーとして1年間活動させていただきました。今までは読むだけでしたが、会議に参加していくうちにどのような言葉にすればわかりやすく読みやすい文章ができるのか意味を考えることができました。新しいフィロソフィの作成に携わることができ、このフィロソフィがみなさんの「心のよりどころ」になれば光栄です。(谷山病院 看護師 葛和麻美)

部署長よりこのプロジェクトに参加することを提案された際は、職務経験が浅い私に務まるのかと不安がありました。しかし、プロジェクトに関わる上役、多職種の方々の仕事に対する思いや力強く前向きな考え方に感銘を受け、自身にとって良い刺激となりました。バージョンアップに携わることができたことに感謝いたします。(谷山病院 作業療法士 揚村美帆子)

慈愛会の経営理念や思想について改めて見つめ直す良い機会となりました。当初は「こうあらなければならない」という少し堅苦しい内容になっておりました。会議を重ねるなかで、職員が疲れたとき、職務を全うしながら仕事の方向性を見失ってきたときに、心のよりどころとなるような内容となるように心がけました。言葉一つひとつの意味を真剣に考え、その言葉がどのような影響を与えるのかについて幾度となく話し合いました。慈愛会フィロソフィが慈愛会職員の心のよりどころとして活用されることを願います。(谷山病院 看護師 兼石彰)

90周年を迎える記念すべきこの年に向け、約1年間プロジェクトメンバーの方々やver. 2の作成に携われたことは、大変貴重な経験であったと改めて感じております。ver. 1の発行から時がたち、時代も移り変わっていますが、慈愛会職員として大切にすべきことは変わっていない、その思いをメンバー全員で共有しつつ、これからの時代に合わせた考え方や表現などを新たに盛り込めたのではないかと思います。この一冊が慈愛会の皆さんのお力になることができれば幸いです。(奄美病院 事務職員 渡大輝)

今回のバージョンアップに携わるのは責任重大だと思いましたが、難しく捉えず、前向きで心のよりどころになれるver. 2ができたらいいな…と思い参加しました。仕事で悩んだときにヒントになり、励ましてくれるver. 2が完成し、とても嬉しく思います。徳之島病院では副看護師長会でフィロソフィをラミネートし全部署に配布しているのでver. 2も同じようにラミネートして全部署に配布したいと思います。(徳之島病院 栄養士 作元ゆかり)

プロジェクト活動で多くのことを学びました。会議の際に今村理事長や帆北副委員長が「医療や介護を行う上で困難に立ち向かうのではなく1度立ち止まって、フィロソフィが今後進むべき指針となれば」という言葉をおっしゃっていました。フィロソフィver. 2がver. 1以上に、慈愛会スタッフにとって仕事をすすめる上で目標達成のために「何が必要なのか？どのような姿勢で仕事に臨むべきなのか？」といった前向きな考えになるきっかけになればいいと思います。(愛と結の街 介護福祉士 切田諒)

今回のプロジェクトを通して、改めて「京セラフィロソフィ」「慈愛会フィロソフィ」の素晴らしさを確認しました。また、それぞれのメンバーが活発に意見を出し合い、有意義な議論を経て、新しい「慈愛会フィロソフィ」を完成させることができたと感じています。バージョンアップした「慈愛会フィロソフィ」が、皆様のこれからの仕事・人生において、少しでもお役に立てればと願っております。(法人事業本部 総務人事部長 原伸二)

プロジェクトに1年以上携わり、ver. 2の完成に至ったことは大変光栄です。ver. 1は京セラフィロソフィを踏襲していましたが、ver. 2では是々非々の姿勢で理念が深化・明確化されたと実感しています。このフィロソフィを基に、さらに質の高い保健、医療、介護、福祉、教育を提供し、組織全体の成長を遂げる礎となれば幸いです。(法人事業本部 事務職員 高野正樹)

このようなプロジェクト活動に初めて参加させてもらいました。自分が提案した少しの事を委員の皆さんで意見を出し合い、一つの項目ができた時はすごく嬉しかったです。フィロソフィは読む人によって、読む時の気持ちによって受け取り方が全然違ってくると思います。ver. 1が10年皆さんの近くにあったようにver. 2も10年皆さんの近くで何度でも手に取ってもらえたらいいなと思います。(法人事業本部 事務職員 巢森香織)

当初、プロジェクトメンバーに選ばれたときはこの後10年は使用されるver. 2のメンバーとして相応しいのだろうかかと不安でした。しかし、1年間を通して会議を重ねるごとにフィロソフィを更に良いものにしようというメンバーの思いが表れる文章になっていき、この会議に参加できて良かったと感じました。普段フィロソフィを読まないという方もぜひ一度手に取って、気になったタイトルの文章を読んでみよう、でもいいですし、活用いただければと思います。(法人事業本部 事務職員 徳重梨沙)

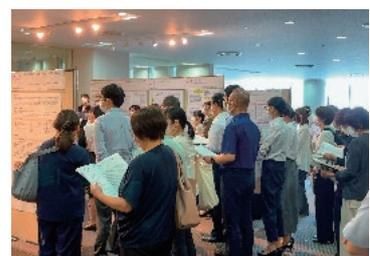
第4回 慈愛会学会学術集会

「Jiaikai2040 いまこそ未来へつなぐ創造力を」をテーマに、第4回慈愛会学会学術集会（大会長 常盤光弘今村総合病院院長）が2024年7月27日（土）、カクイクス交流センターで開催されました。参加者は、会場・リモートを合わせて400名を超えました。

口演30題、ポスター40題の発表があり、医療・介護・福祉・教育と、内容は多岐にわたりました。多職種の専門性を発揮し各々の役割を深く掘り下げ、現況の臨地経験や研究成果を共有する貴重な機会となりました。

パネルディスカッションでは「Jiaikai2040 未来を先取りする創造力を」テーマとして5名のパネリストが登壇しました。データから見る2024年の慈愛会、将来推計人口動態を見据えた構想、2040年の未来予測、医療機器の今後、離島生活者からの視点、地域医療、医療DX・AI・ロボットとの共存等、今後に向けて希望を抱き期待をふくらませることができる内容で、テーマ通り、未来志向の学会となりました。

第5回学術集会は、いづろ今村病院 長野真二郎院長を大会長として来年2025年夏に開催予定です。





第4回 慈愛会学会学術集会 審査結果

最優秀賞

□ 演

当院における関節鏡下前十字靭帯再建術の変遷と臨床成績

今村総合病院

医師 福島 佳織

ポスター

当院におけるファブリー病検査の現状～尿検査の視点から～

今村総合病院

臨床検査技師 炭谷 一行

優秀賞

□ 演

今村総合病院における特定行為研修修了者の現状と課題

今村総合病院

看護師 吉森 みゆき

EXCEL を活用した低コストでの集計業務の負担軽減

今村総合病院

事務員 佐々木 大輔

デジタル化推進による恩恵と課題～訪問診療スケジュール管理ソフト導入による業務改善への挑戦～

かごしまオハナクリニック

事務員 木原 翔

ポスター

訪問リハビリテーションからみた施設間連携について～在宅生活の維持につなげる情報共有の方法～

今村総合病院

理学療法士 本室 勝彦

業務フロー活用事例の報告～院内の業務改善をめざして～

今村総合病院

診療情報管理士 牧原 尚紀

造影 CT 時の適切な静脈路確保について

今村総合病院

診療放射線技師 西田 崇友

退院への不安が強い長期入院患者に対する支援～退院準備プログラムを通して患者の悩みを知る～

谷山病院

作業療法士 濱迫 なる光

キャリア開発ラダーへの支援を考える～意識調査から見えてきた課題～

奄美病院

看護師 千田 多摩希

利用者のケアをみんなで支える～業務改善を実施して～

介護老人保健施設愛と結の街

介護福祉士 坂野 初代

今村節子賞

□ 演

術前オリエンテーションの統一化とその効果～オリエンテーションのパンフレット作成と指導～

今村総合病院

看護師 野元 海輝

特別賞

□ 演

インスリンボールの影響により血糖コントロール不良を認めた症例について

いづろ今村病院

薬剤師 田原 七海

奨励賞

□ 演

地域活動支援センター事業における現状と今後の課題～TQM 活動を通して見えた地域を巻き込んだ今後の事業展開について～

地域活動支援センターひだまり

精神保健福祉士 佐澤 佳史朗

RPA(Robotic Process Automation) の活用による業務改善

今村総合病院

診療情報管理士 池田 祐太

中途採用看護職員支援プログラムの改訂～キャリアアップし働き続けられるための支援強化～

いづろ今村病院

看護師 平石 敬美

本校学生の実習過程における社会人基礎力の変化と属性による特徴～看護基礎教育での社会人基礎力育成に向けて(第1報)～

鹿児島中央看護専門学校

専任教員 大磯 陽子

慈愛の保育の実践～多様性(国の違い)を認め合う保育～

社会福祉法人慈愛会 きずな保育園

保育士 帖佐 智子

ポスター

今すぐ出来るコスト削減

いづろ今村病院

事務員 中武 知史

地域包括ケアシステムの構築を目指し在宅療養支援病院としてできること～レスパイトに焦点をあてた研修会を開催して～

いづろ今村病院

社会福祉士 岡田 美鈴

当院の産前産後リハビリテーションの取り組み

今村総合病院

理学療法士 津曲 麻美

行動制限最小化と向き合う離島精神科看護～身体拘束が長期化する患者への取り組み～

徳之島病院

看護師 桑水流 裕介

訪問看護実習における学生の実習環境について～実習環境づくりに向けた職員の取り組み～

笹貫訪問看護ステーション愛の街

看護師 安藤 理恵子

慈愛会「役割等級制度」導入に際して

慈愛会の次世代の組織開発 — 給与制度改定が目指すもの —

公益財団法人慈愛会 理事長 今村 英仁

日本では戦後、1) 国民皆保険、2) フリーアクセス、3) 現物（医療サービス）給付、が保証された国民皆保険制度が充実してきたお陰で、国民にとって、また、医療提供者にとっても恵まれた環境が続いてきました。

しかしながら、新型コロナ禍を経て、また、少子高齢化が進み日本の国力が諸外国に比べ相対的に低下する中で、医療を取り巻く状況は厳しさを増す一方です。国民皆保険制度は、国民から見ると今でもしっかりと機能していますが、医療提供者から見るとすでに破綻していると言っても過言ではありません。

そもそも借金大国となった日本で、医療だけに青天井にお金を支出することはできません。以前大きく取り上げられた「医療費亡国論」が、水面下では、以前にも増して国民感情を支配しつつあるように感じられます。

真面目に医療に専念していれば、国がどうにか面倒を見てくれるという甘い幻想は切り捨てた方が良い—このことは、中央で2年間仕事をやる中で疑問から確信に変わりました。

当法人がこれからも存続するために必要なことは今までも行ってきました。

1) 目の前のご利用者のニーズに応え、質と安全を担保するサービスを提供すること、は不変です。ただし、今までこれが必要十分条件だったのが、必要条件ではあるが、十分条件とは言えなくなりました。これからの時代は、

2) 国民皆保険制度に頼らなくてもサービス提供を継続できる仕組みを持つことが、法人が持続するための十分条件として求められると考えます。

当法人は「最大の投資は人」の考え方でここまで継続できましたが、ますます、人への投資、即ちスタッフへの投資を強化することで、先の十分条件を満たす組織づくりを目指していこうと考えています。これが、慈愛会の次世代の組織開発です。

今回の給与改定もこの考えに基づく改定であり、まだまだ完成形とは言えませんが、最初の一步が始まりました。

自律的に進化する組織を目指す = アメーバ組織 への挑戦

トップダウンでも、ボトムアップでもない、“自律的”に仕事が回る組織は、組織の大きさに関係なく進化を続ける組織といえます。稲盛和夫氏が「中小企業は吹き出物と同じで、大きくなるとはじける。一方、大企業は発足した時から大企業で、組織が小さくても大きくなっても組織の大きさに関係なく進化することができる」と言った話が忘れられません。

理事長として目指してきたのは、慈愛会が「アメーバ組織」に変貌することです。そのために、「人への投資」を行ってきましたし、これからも続けていきます。

- ・ IT教育を経験した新人が働きやすい環境づくりと、ベテランがいつまでも仕事ができる環境づくりの両立
- ・ 当法人の生え抜きが活躍できる環境づくりと、中途入職者が入職と同時に自分のスキルを発揮できる環境づくりの両立
- ・ 慈愛会で仕事をする中で、どこに転職しても活躍できるスキル開発が行える環境づくり
- ・ 感情労働のヘルスケアの職場で、“心理的安全性”を得られる環境づくり
- ・ 地域社会を支え、地域の“社会関係資本”を強化することに貢献できる環境づくり

これらを実現するために、従来の人材開発・教育開発制度に加え、新たな人事評価制度を導入します。

1) 人材開発・教育開発制度

- ・全職種が、その職種の目指すことを明文化し、自分のレベルがどの位置にいるかを見える化するためのラダー作成（現状は職種によって玉石混交ですが）
- ・新人教育の充実から開始し、中堅スタッフ、上級スタッフの教育開発の充実
- ・慈愛会フィロソフィの見える化
- ・慈愛会学会の活動継続と慈愛会ジャーナルの発行
- ・心に届く慈愛の物語を紡ぐ会への全職種の参加

人材開発のスピードは必ずしも速くないかもしれませんが、確実に進んでいます。これからも諦めずに進めていきます（多様な能力・才能を持った人材の集団が慈愛会です。普通の鹿児島県民が当法人に入職することでスキルアップできることが大事と考えます。なぜなら、人の能力・才能は無限大だからです。その力を開放できる人材開発を目指します）。

スタッフの皆さんに目指してもらいたいこと

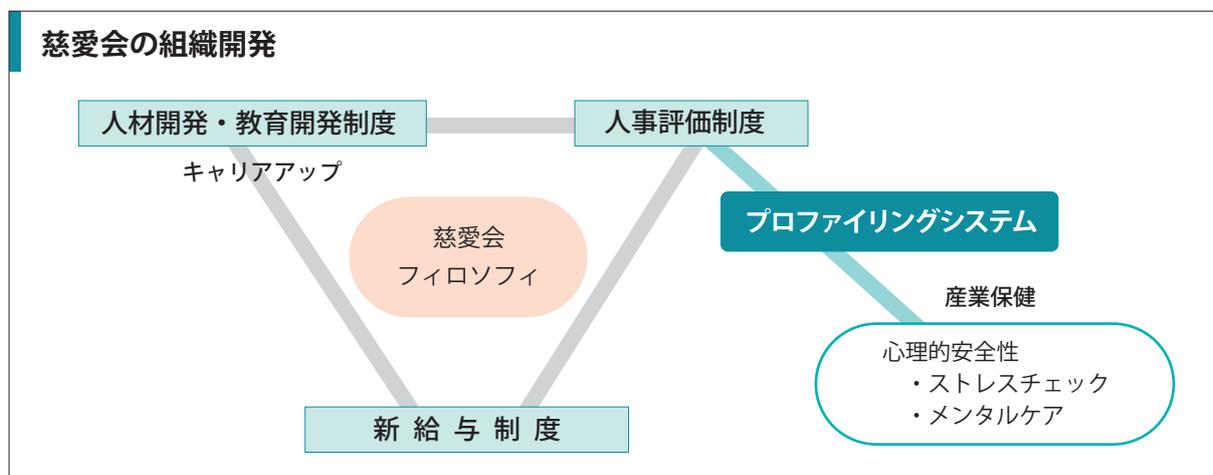
- ①自分の職種のプロとしての知識と技術を鍛える
- ②多職種協働の時代に、チーム医療を率いるリーダーとしての技術を習得する
- ③“個人事業主”としてもサービス提供ができる経営の技術を身につける

2) 慈愛会人事評価制度

- ・年功序列による評価よりも、何ができるか＝“職能”による評価への転換

※給与制度はさらに次のステップの「役割等級制度」へ

- ・役職任期制度（1期2年）の導入
 - *役職については、昇任・降任の考え方を廃止します。役職者の役割は、その担当を遂行することに加えて、同役職をできる人材の育成、です。同じ役職の期限を3期6年とします。余人をもって代え難い場合は、後任育成ができなかったと判断するのが妥当と考えます。
- ・360度評価の導入
 - *今回の給与制度が開始されるのに伴い、人事評価制度の改革と進化を進めなければなりません。スタッフ一人一人の評価が相対的に行われるのではなく、限りなく絶対評価に近づける必要があります。そのためには、
 - ・スタッフ一人一人の充実したプロファイリングのシステム構築が必須となります。
 - *プロファイリングシステムで扱う個人情報を実際に保護するために、産業保健は別箇切り離して取り組むべきと考えます。強固な情報バリアを設けつつ、心理的安全性の確保を重視していきます。



今回の給与制度改定で終わりではなく、人材開発・教育開発制度、人事評価制度、新給与制度の3つをPDCAでしっかりと回しながら進化させることが重要です。慈愛会が次世代まで勝ち抜くために、組織開発を推し進めます。

ガンマナイフ治療開始に向けて

今村総合病院 ガンマナイフセンター室長 脳神経外科 八代 一孝



当院では現在ガンマナイフ棟の建設が進んでおり、2024年の年末に建物が完成、2025年2月までに機器を設置し、準備が整い次第、治療を開始していく予定です。

これまで開頭手術が中心であった脳腫瘍の治療を、ガンマナイフ治療に置き換えつつ、脳神経外科診療全般においても、さらにレベルアップした診療を推し進めて参ります。



ガンマナイフ棟建設の様子(2024年8月現在)

■ガンマナイフ治療の対象疾患と有効性

ガンマナイフの対象疾患(表1)は、脳腫瘍が9割近くを占め、その中で最多となるのが転移性脳腫瘍です。さらにその中の6割を肺癌からの脳転移が占めます。これまでガンマナイフ治療では、治療できる病変の大きさに限界があり、教科書的には直径3cmまでの病変を治療できると書かれているものが多いようです。ただ実際には、大きな悪性腫瘍に対して高線量で照射すると放射線障害が出現する頻度が高くなりますので、1回照射で治療できるのは2.5cmほどまででした。それ以上の大きさの病変では治療成績が悪くなり、2-3週間の間隔を開けて、2-3回の分割照射をするという手法が取られてきました。そして、照射の度に頭部を金属フレームでピン固定する必要がありました。

ところが現在はプラスチックマスクでの固定に変わりましたので、照射を分割することも容易となり、画像1のような大きな複数個の病変に対しても5-10日間で分割照射を行うことで、安全かつ有効に治療を完遂することが可能となっています。

■ガンマナイフ治療の副作用

ガンマナイフ治療では、前述の通り、短期間で高線量を病変に照射します。その結果、治療効果も高いのですが、放射線障害が出現する可能性もあります。

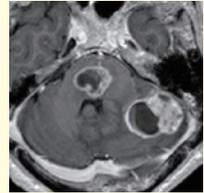
以前は大きな病変に照射を無理に行くと、放射線障害が高頻度で出現していたのですが、現在の分割照射ではその頻度を10%以下に抑えることが可能となりました。

また、副作用に対する治療法の開発も進み、適切に対応することができるようになってきています。ただ、副作用に適切に対応するためには、ガンマナイフ治療後も定期検査を継続することが大切です。

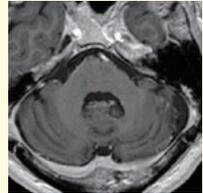
ガンマナイフ治療対象疾患(表1)

脳腫瘍	脳血管障害
転移性脳腫瘍 前庭神経鞘腫 髄膜腫 下垂体腺腫 頭蓋咽頭腫 神経膠腫 など	脳動静脈奇形 硬膜動静脈瘻
	機能的疾患
	三叉神経痛 (パーキンソン病)

画像1



肺癌脳転移治療前MRI



肺癌脳転移治療 6カ月後



クラウドファンディング 実施!

目標金額1,500万円 達成!

今村総合病院は、救急医療や高度専門医療へ取り組んでおり、中でも、がん治療についてはさまざまな治療法を組み合わせることで、より高い治療効果を目指してきました。一方で、脳腫瘍など頭部の治療法は手術に限定されています。地域に根差した高度急性期病院として、地域の皆さまにより良い医療を提供するためにはガンマナイフ導入が不可欠と考え、新規導入を決定しました。



ガンマナイフ導入には多額の資金が必要となります。そこで、今村総合病院は7月からクラウドファンディングを開始しました。慈愛会職員の皆様からも多くの励ましのお言葉、ご寄付をいただき、プロジェクトメンバーの励みになりました。ありがとうございました。

クラウドファンディングの活動報告や応援メッセージは右記二次元コードから、プロジェクト紹介サイトをぜひご覧ください!

READY FOR 今村総合病院 レディーフォー <https://readyfor.jp/projects/imamura-general>



慈愛会垂水サテライトクリニック 開院セレモニー

2024年4月29日(月・祝)慈愛会垂水サテライトクリニック オープニングセレモニーを挙行了しました。

今村英仁理事長の挨拶に続き、貴島佳子院長が「現代女性は学業・仕事・家事・育児・介護・地域活動と忙しくなかなか自分のために時間を費やすことができません。忙しい女性のお役に立ちたいと願い本クリニックは開設されました。火・木曜日の午後と限られた時間ではありますがせっかく地元でできた産婦人科です。ぜひご利用ください」と挨拶しました。

セレモニーでは、来賓の鹿児島大学 医歯学総合研究科 健康科学専攻 発生発達教育学講座 小林裕明教授、垂水市スーパーバイザーを務める鹿児島大学 医歯学総合研究科 心臓血管・高血圧内科学分野 大石充教授にご祝辞をいただきました。



看護業務功労表彰

鹿児島県の令和6年度看護業務功労者表彰式が2024年5月10日(金)、鹿児島県庁で開催され、当法人から鹿児島中央看護専門学校の大保まり子 前副校長(写真左)、いづろ今村病院の鳥越るみ子看護師(写真右)の2名が表彰されました。

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕日にちなんで制定された「看護の日」(5/12)、「看護週間」(本年度は5/12-5/18)に合わせて、鹿児島県は毎年この時期、長年にわたって保健・医療の分野で顕著な功績があった看護師を表彰しています。今年は11名が表彰されました。



法人事業本部・教育開発センターより

第5回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会選考結果

入選者の皆さんおめでとうございます!



最優秀賞	「3分間で次々に生まれる看護の物語」	今村総合病院	看護師	松山 郁子
優 秀 賞	「風薫る季節に想う」	いづろ今村病院	視能訓練士	岩田 修子
	「父の背中」	今村総合病院	診療放射線技師	恵 智徳
入 選	「声色 - 声で安心感を与える看護 -」	いづろ今村病院	看護師	富吉 菜々海
	「“声”で伝わる - A氏が教えてくれたこと -」	今村総合病院	看護師	前田 彩萌
	「その人の生き方や思いに興味を持つ - 災害支援で出会った方との関わりを通して -」	谷山病院	精神保健福祉士	住吉 亜紀美
	「心に寄り添う看護 - ただ傍に居ることの大切さ -」	谷山病院	看護師	橋口 響
	「誰かの背中を押すこと」	奄美病院	精神保健福祉士	森越 志保
	「5年越しのたより-Iさんとの対話を通して-」	徳之島病院	事務員	芳 あずさ
	「悲喜こもごもの中で - 今日美味しい食事を届けたい -」	介護老人保健施設愛と結の街	管理栄養士	今村 瑞香
	「気づかなかった後悔 - 3年後の出会いが教えてくれたこと -」	鹿児島中央看護専門学校	看護師(専任教員)	森重 サユリ
	「手を温める人 - 一瞬一瞬の快で彩る日常を -」	鹿児島中央看護専門学校	看護学生	二宮 雅
	「家族の想いを聞く時間 - 振り返る機会をくれたAさんへ感謝 -」	法人事業本部	看護師	池田 貴美子

永年勤続表彰

(省略)

オープンキャンパスを開催しました！

鹿児島中央看護専門学校

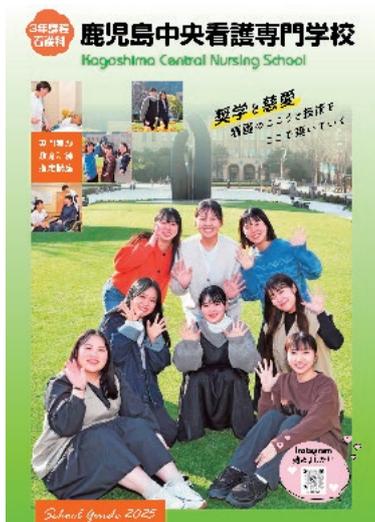
今年度は6月から5回にわたってオープンキャンパスを開催。冒頭に副校長から学校の紹介、事務長から学費・奨学金等について説明を行いました。

看護体験がある日程では、いくつかのグループに分かれて4つのブースを回って体験してもらいました。

看護体験は例年、本校の学生が行う演習と同様の内容で実施しています。今年のシミュレーターコーナーは、聴診や脈診、瞳孔反射確認の体験を行いました。最初は少し戸惑う様子もありましたが、在校生に促されながら思い思いに聴診器をあて、モデル人形に触れたりしていたようです。また、赤ちゃん抱っこ・おむつ交換のコーナーでは笑顔で声をかけながらおむつを替える微笑ましい場面もありました。他にも手洗いやベッドメイキングの体験、体位変換の見学等、参加者の皆様が楽しんでいただけるように内容を工夫しました。

終了後のアンケートでは、「体験や先輩方のお話で学校の雰囲気が分かって、とても楽しかった」「在校生が参加者に説明や実践をしていることがとてもよかった」など、嬉しい感想をいただきました。

今回の経験を通して、一人でも多くの方に「看護師になりたい！」と思っていただけましたら幸いです。



2025年度入学生募集!!

鹿児島中央看護専門学校の学生募集パンフレットができました♪
看護師志望のお子さんをお持ちの皆様、キャリアチェンジを検討している社会人の方々、是非本校へのご入学をご検討ください。慈愛会で共に学び、共に働きましょう！

出願時点で慈愛会に在職している職員本人、職員の親・子・きょうだいの方には入学検定料全額免除の特典もあります！

※本校は社会人経験者向けの「専門実践教育訓練給付制度」指定講座です。

願書受付期間と入学選考日程

入試区分	願書受付期間	入学選考日
推薦入試	R6.9.24~10.18	R6.10.26
一般・社会人・特別入試	R6.11.1~11.22	R6.11.30

★インターネット出願となります。詳しくは本校ウェブサイトご確認ください。➡



「こころのマルシェ」初開催

谷山病院



2024年8月8日(木)、谷山病院周辺地域にお住まいの皆さんと楽しく交流を図りたいとの思いから「こころのマルシェ」というイベントを開催しました。

午前中は、ふれあい看護体験として子どもたちが看護師のお仕事に触れつつ、カラーセラピーや救命演習などを体験しました。真剣な表情で、時には笑いありと楽しく学ぶことができたようです。当日は鹿児島市内各所の就労継続支援B型事業所からパンや野菜、手作り雑貨などの

出店を頂きました。カレーやピザなどのキッチンカーも大いに賑わいました。

当院認知症疾患医療センターによる高齢者体験・認知症ミニ講座、看護部による“こころの一休み”という相談窓口など、職員が工夫を凝らして様々なブースを設け、当院に通院されている患者さんたちが作られた作品展示コーナーも注目を集めました。

その他“バグゴ”(BAGGO)”という簡単な入れゲーム、大画面でのテレビゲーム体験、慈愛の広場では竹とんぼづくりにスイカ割りなど、子どもたちと患者さんたちの交流する場面も多く見られ、和やかな雰囲気に癒されました。

これからも親しみやすい病院であり続けるために、本イベントをはじめ様々な形で地域の皆さんとの交流を図っていきます。



中学生の職場体験

5月に亀津中学校の職場体験を受け入れました。3日間で、看護師や薬剤師、リネン部門など様々な職種の見学や体験をしてもらいました。行く先々でご利用者や患者さんに温かく声をかけてもらい、後日「私たちのことが気になって、色々知ろうと思ってくれたことがとても嬉しい」との感想をもらいました。

今回の体験で、病院という組織が様々な職種に支えられていることを学び、将来の進路選択に役立ててもらえると嬉しいと思っています。



5月、2日間にわたり甲東中学校の職場体験を受け入れました。院内のいろいろな部署で見学や機械操作の模擬体験をしていただきました。病院に多くの仕事(職種)があることに驚かれたようです。「普段はできない体験ができて楽しかった!」と感想を頂きました。

今回の体験が将来の進路選択の一助となり、医療の世界にも関心を持っていただけたら嬉しく思います。



5月・7月に2校の職場体験を受け入れました。コメディカルを中心に様々な部署で見学・体験をおこなっていただきました。今回の経験が今後の進路選択の道しるべとなることを願っています。

5月に受け入れた西紫原中学校の生徒さんは“多様な側面から働くことの価値や魅力を考え、当院の求人ポスターを制作する”という学習に取り組んでくださいました。できあがった求人ポスターは今村総合病院1階ふれあいアートストリートに展示中です。ぜひご覧ください!(^^)!



敬老会

介護老人保健施設愛と結の街の療養棟(2階・3階)では9月8日に、デイサービスはなぶさでは9月14・15・16日の3日間、敬老会を開催しました。

ご長寿をお祝いして表彰状をお贈りする場面では、涙ぐむ方もいらっしゃり、ご利用者の皆さんもご家族の方も大変喜んでおられました。



イベントのご案内

いづろ健康・介護まつり

2024年10月19日(土)
14:00~16:00(予定)

秋恒例、10年来開催してきた「いづろ今村病院健康まつり」が、今年からリニューアル!

地域の皆さんと一緒に「いづろ健康・介護まつり」の新たな名称で共催することとなりました。

10月19日の開催に向け、名山校区コミュニティ協議会といづろ今村病院で構成する「いづろ健康・介護まつり実行委員会」が協議を重ねています。連携医療機関の先生による市民公開講座、甲東中学校吹奏楽部のミニコンサートも予定しています。

いづろ健康・介護まつり 入場無料

2024年 10月19日(土) 14:00~16:00

市民公開講座

特別講師 いづろ今村病院 看護師のエルス(じあひ)

刃戸山クリニック 院長 鈴木川口先生

血圧測定 血糖測定 尿酸測定 血液検査・ストレスチェック ロコモチェック 聴覚検査 栄養相談 おくすり相談

【会場】 名山校区コミュニティ協議会 公民館 法人 公益社 いづろ今村病院

※当日は、お天候により会場が変更される場合がございます。当日は、お天候により会場が変更される場合がございます。当日は、お天候により会場が変更される場合がございます。

第2回 愛と結の街 介護マルシェ



2024年12月1日(日)
午前開始予定



昨年11月に初めて開催した地域向けイベント「介護マルシェ」。今年も12月の開催が決まりました。認知症相談などさまざまな相談ブース、体験ブース、等々、ご来場者に満足いただける催しを準備していきます。

スケジュールと内容の詳細は決定次第、愛と結の街ウェブサイトでお知らせします。

4月発行の本誌34号に続く能登半島地震被災地支援活動報告。今回は、愛と結の街の3名の皆さんに寄稿頂きました。(氏名の後のカッコ内は派遣期間)



介護老人保健施設 愛と結の街 介護福祉士
中馬 健一 (2024.2/25-2/29)

DWAT (Disaster Welfare Assistance Team : 災害福祉支援チーム) の一員として金沢市の1.5次避難所にてトイレ付き添いや排泄介助、食事制限のある方の食事内容サポート等の個別対応、個人情報収集と今後の生活支援へ繋げる橋渡し、看護師・保健師や行政との連携、生活物資提供の調整、介護相談等といった支援を行いました。震災で息子さんを亡くされた方や家や職を失い先の見通しが立たない方等、避難されている皆さんはそれぞれ複雑な事情を抱えて不安な日々を過ごされていました。情報や時間が限られる中、関係性を築いた上で食事面や生活面の助言や支援を行い改善したケースもあり、少なからず避難者の方々へ貢献できたのではないかと思います。鹿児島でもいつ大災害が発生するか分かりません。ハード・ソフト両面で災害対応の体制作りを急ぐ必要があると改めて感じています。



支援チームの拠点



避難用個室の内部

介護老人保健施設 愛と結の街 介護福祉士
谷川 みつる (2024.3/10-3/14)

鹿児島県からの要請を受け金沢の1.5次避難所入りしました。仮住まいの長引く暮らしの中で、著しい体力低下や健康状態の悪化。物がなくなった不安から配給食材を抱え込む人やバラバラになった家族を気遣う人。それぞれに抱えている福祉ニーズがありました。

暮らしを支援する専門職として、語りだしを引き出し、人となりを知る環境を提供するには、情報の共有・伝達がスムーズにできる体制が不可欠です。スタッフは全国各地から集まっています。いつ、誰が見てもわかる仕組みを構築し、行動の意味の解釈・関連付・統合化し、途切れない支援を繋げていくことが求められていると肌で感じる現場でした。心豊かな生活を共に目指すには、必要な支援が効果的に届けられる「災害中間支援組織」の更なる強化が必要と感じました。



能登半島をイメージした“がんばろう能登ポーズ”。前列右端が筆者

居宅介護支援センター 愛と結の街 介護福祉士
濱田 郁代 (2024.3/17-3.21)

鹿児島県老健協会からの要請を受け3日間の夜勤支援に従事しました。いしかわ総合スポーツセンター内の避難所は、メインアリーナ(一般避難者)とサブアリーナ(要配慮者)に分かれ、支援者も全国各地から集まっており、主となって支援者を調整していた熊本県の方々は苦慮されている印象でした。避難生活が長くなることで精神面が不安定になり入院となる方や要配慮者同士関係性が構築され避難所が安住の場所となっている方々もいました。喫煙される方も見受けられ、避難所での生活ルールに縛られる被災者の方々への支援を通して、いろいろと葛藤がありました。一日も早く要配慮者の方々安心して生活できる場所への移行が進むことを願いながら活動しました。



水をろ過して再利用できる手洗い場です。トイレまで行かなくても身近に手を洗える場所を設けて感染症予防に取り組んでいました。



廊下のトイレまで遠いので身近な場所にトイレを設置。ポータブルトイレ便座内には凝固剤を入れて廃棄しやすく。また臭いにも配慮していました。





生け花の達人

徳之島病院 施設管理課 清掃係 常 京子 さん

ふと目をやると病院の至る所に花が生けられています。トイレの片隅、食堂のテーブルなど…多くのスタッフが、そのさりげなく生けられた草花にひとときの安らぎを感じ、癒されています。精神科病院を支える仕事は多岐に渡りますが、今回は徳之島病院の清掃スタッフ・常京子さん、名付けて「生け花の達人」をご紹介します。

Professional編集委員 徳之島病院 事務部 芳 あずさ



■いつからお仕事を始めましたか？

平成 27 年に入職し、今年 4 月で 10 年目に入りました。

■病院における清掃の仕事を選んだきっかけは？（以前はどのような仕事を？）

清掃が好きだからですかね～とても楽しい仕事です。以前は、農業と自営業をしていました。閉店したタイミングで知り合いの方に徳之島病院を紹介していただきました。

■花を生け始めたきっかけはありますか？うまく生ける秘訣がありますか？

以前働いていた方が毎日のように野花を生けていて、すごく可愛かったので私もやっています。うまく生ける秘訣はないです、自己流です（笑）自分が良いと思えば良しです。生けているのは家の庭に咲いている花や、道ばたの草花が殆どです。「癒されます」と言ってもらえるとそれがまた嬉しくて、励みになります。

■どんな仕事を主に担当されていますか？

病棟以外の施設全般の清掃（当直室や单身寮も含む）
植栽の手入れ（庭の草取り・院内の観葉植物の手入れなど）

■仕事をする上で心がけていることは何ですか？

皆さんがいつも気持ちよく思っただけだったらと思っています。4・5 年前、何かで読んだ記事に、『仕事＝働く（はた・らく）』→「はた（そば）にいる人」を「らく（楽）にすること」とありました。「なるほど!!」と思い心がけています。

■仕事をしながら日々感じることはありませんか？

患者さんから「こんにちは」とか「お疲れさん」とか声を掛けられて嬉しいですよ。「元気そうで良かった～」とか「歩いていなかったのに、今日は歩いているね」とか、心の中で思っています。

■今後、どのように仕事をしていきたいですか？

今までと変わりなくです。仕事は一人ではできません!!
お互いに協力し合ってやっていきたいと思います。大変な時もありますが、毎日楽しく清掃しています。続けてきてよかったです。



在宅医療

リレーエッセー

14

訪問看護ステーションわたりどり開設1周年記念

特別編 わたりどりスタッフインタビュー

この1年を振り返ってどうでしたか？

- 右も左も分からずスタートし、スタッフ全員で学習し、業務改善してきた日々でした。やはり、最後は利用者さんとの関係性が大切だと感じる今日この頃です。
- 突っ走ったな～っていうのが一番の実感です。院内での看護と「何も変わらないよ」って言われながら、事前勉強に励み一年が経ちました。まだまだ分からないことも多々ありますが、勉強になっています。
- 準備期間に並行して、訪問看護師としての制度や知識を深める時間が必要だったので、オープン前から慌ただしかったのが今となってはいい思い出です。
- iPadを利用した訪問記録にも慣れ、最初の慌ただしさからようやく落ち着きを取り戻した今日この頃です。訪問ではそれぞれの家族とのふれあいもあり、感慨深いものが

あります。資源の少ない離島の環境下、家族のチームワークの素晴らしさを感じています。

世界遺産にも登録されるほどの雄大な自然に力を貰いながら、結の精神で協力しながら必死に走ってきたこの一年。今後も、南国特有の暑さに負けず頑張っていきます!!



訪問看護ステーション わたりどり

所 長：吉元初美

看護師：田原智香・森絹代・勝久美子・中富孝枝・末永真由美
作業療法士：古田真悟 事務員：福島幸代

(省略)

法人事業本部 総務人事課より 投資教育動画シリーズ vol.7

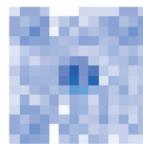
秋になりました！ 今期の実績を確認しましょう！

4月の春の木漏れ日を感じたあの日から灼熱の太陽の季節を越え、あっという間に秋ですね。皆様いかがお過ごしでしょうか。ちょうど9月で今年度の前期が終わります。

今期の401kの運用実績を確定拠出年金 Web サービスで確認して、運用を見直してみましょう。今回の確定拠出年金 Informationでは「運用商品を選んで資産配分を決定する」をテーマに運用のアドバイスをご紹介します。ぜひご確認ください。



確定拠出年金Information



確定拠出年金の基本について
短い動画で説明しています。
「確定拠出年金のご案内(簡易版)」



確定拠出年金Webサービスで
商品の確認や変更が可能です。
ログインはこちら↓
URL: <https://www.nrkn.co.jp/rk/Login.html>

★WebサービスのログインIDの再発行や確定拠出年金に関するお問い合わせはこちらへご連絡ください。
電話番号 099-223-6665 (平日9時から17時)
鹿児島銀行金融資産コンサルティング部 (DC担当)

編集後記

観戦制限のあった東京オリンピックから早3年…100年振りにパリで開催された制限のない五輪はメダルラッシュに沸き、大変な盛り上がりを見せていました。例年にない猛暑の今夏は、ご自宅でのんびり観戦された方も多かったのではないのでしょうか。

盛り上がりを見せたと言えば、慈愛会創設90周年記念事業の安藤忠雄先生特別講演会も大盛況でした。Professional35号では90周年記念の特集記事を組みました。各施設の歴史や変遷なども是非ご覧ください。

広報誌「Professional」は創設80周年の前年に創刊され、今年で11年目となります。これからも興味を引かれる記事や慈愛会内の様々な情報等を発信していきたいと思えます。次の100周年へ向けて、慈愛会職員の皆さまの更なるご協力をお願いいたします。

鹿児島中央看護専門学校 事務部 濱下千浪

達人
Professional

慈愛会報 [プロフェッショナル]

2024年9月 Vol.35

発行：公益財団法人慈愛会

編集：Professional 編集委員会

事務局：慈愛会 企画部 経営企画室

公益財団法人 慈愛会
<https://www.jiaikai.or.jp/>



慈愛会
公式Facebook